

H30.4.9 島根県西部で発生した地震の被害報告速報

2018.4.10

中央開発株式会社

1. 地震概要

平成 30 年 4 月 9 日 午前 1 時 32 分に、島根県西部の大田市付近で下記地震が発生した。

マグニチュード 5.8

震源の深さ約 10km

最大震度 5 強 以上、気象庁報告

午前 4 時 50 分現在の島根県大田市のまとめによると、道路の隆起・崩壊などが 23 件。建物のひび割れや壁崩壊などが 16 件。ライフラインも影響を受け、水道管破裂が 23 件あり、108 戸で断水している。また、神社の鳥居の倒壊も発生している。市は 50 カ所の避難所を開設し、計 171 人が避難している。

(引用：朝日デジタル 4/9)



引用：朝日デジタル (H30. 4. 9)

震源は、日本海から内陸へ約 10km 入ったところにあり、三瓶山の北麓にあたる。この周辺では、1950 年以降 M5～M6 クラスの地震が 2 回程度発生している。島根県では、宍道断層、弥栄断層（県西部益田方面）、日南湖断層（県東部）が知られているが、この付近には顕著な活断層の報告はなく、地震と活断層との関連は不明である。一部の報道では、未知の断層が動いたとの専門家の意見を掲載している。

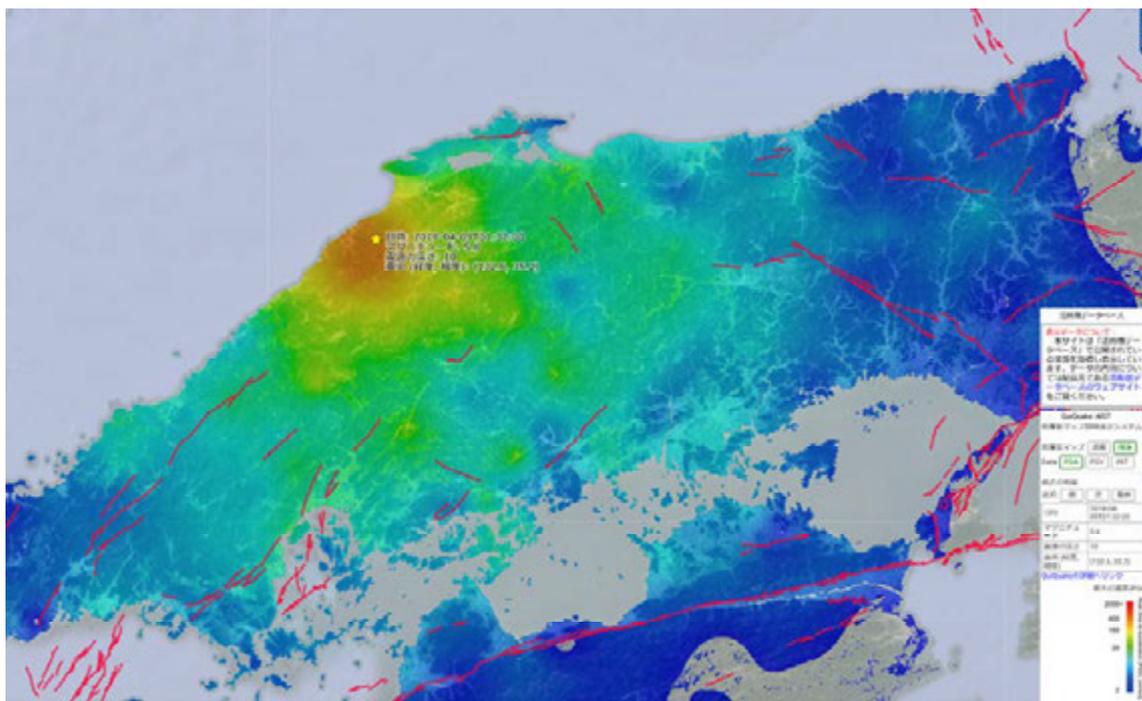
山陰地方で近年起きた主な地震



気象庁の資料から

引用：朝日デジタル（H30.4.9）

産業技術総合研究所の「地質図 NAVI (<https://gbank.gsj.jp/geonavi/>)」では、近傍に活断層は確認できない。



島根県西部で発生した地震の最大加速度分布図（地質図 NAVI）

2. 被害調査

中央開発株式会社では、地震発生をニュースで確認後、直ちに中国支店と連携し、被害調査を実施した。

【被害状況】

大田市内では、路面のひび割れ・沈下、墓石の転倒、神社鳥居の倒壊、家屋の損傷、擁壁の倒壊や損傷等、橋梁アバットの变形等が確認された。被害は大田市内の海岸に近い所に集中しているようである。震央に近い山岳地では、斜面の崩壊等も報道により紹介されているが、三瓶山周回道路等では路面の沈下（すべり？）等が確認された程度で、斜面崩壊等はなかったようである。



家屋壁の損傷



墓石の転倒



路面の沈下



地盤の亀裂



苧田神社鳥居の倒壊（倒壊した鳥居は、既に撤去）



家屋の損傷



石垣の損傷



路面の沈下



ブロック擁壁の転倒と家屋基礎の損傷



液状化と思われる沈下で損傷した家屋



ブロック擁壁の転倒



河川護岸コンクリート擁壁のクラック



同上



橋梁アバットの变形



路面の沈下